

2019/10/16 フォーリン・プレスセンター

# 皇位継承儀式、 時勢にあわせた伝統の継承とは

東京大学史料編纂所教授 本郷 恵子

Shiryo Hensan-jo (the Historiographical Institute the University of Tokyo)

# 1、皇位継承儀式

- ①退位礼正殿の儀 Taiirei-Seiden-no-gi  
平成の天皇が退位を表明（お言葉） 剣璽を傍らに置く
- ②剣璽等承継の儀 Kenji-to-Shokei-no-gi  
新天皇が天皇位の象徴である剣璽を継承する
- ③即位後朝見の儀 Sokui-go-Choken-no-gi  
新天皇が即位を表明（お言葉） 剣璽を傍らに置く
- ④即位礼正殿の儀 sokuirei-Seiden-no-gi  
即位を国内外に宣言
- ⑤祝賀御列の儀 Shukuga-Onrethu-no-gi  
パレード：広く国民に即位を披露
- ⑥饗宴の儀 Kyoen-no-gi
- ⑦大嘗祭 Daijosai  
新天皇による収穫儀礼 新穀を神に供え、神とともに食べ、豊饒と国家安寧を祈る
- ⑧立皇嗣宣明の儀 Rikkoshi-Senmei-no-gi  
文仁親王が皇嗣となったことをあきらかにする

## 2、平成⇒令和の皇位継承儀式で何が問題になったのか？

- ▶ 高齢による平成の天皇の退位

近代の皇室典範においては「退位」が想定されていない

これまでは前天皇の崩御→新天皇の即位

→約200年ぶり、近代日本では初めての生前退位→新天皇の即位

- ▶ 「天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う式典準備委員会式典準備委員会」の主たる議論は退位に関わる儀礼

- ▶ 退位礼正殿の儀 (Taiirei-Seiden-no-gi) を新たに設ける

その後の儀式については、平成の代替わりの際に十分議論されたものとして、原則としてあらたに議論せず。ただし、平成時とは経済状況が異なるため、饗宴の儀については簡素化を検討する。

## @継承のための儀式

### ①退位礼正殿の儀 Taiirei-Seiden-no-gi

平成の天皇が退位を表明（お言葉） 剣璽を傍らに置く

- ▶ 歴史的には「退位 taii」ではなく「譲位 joi」  
前天皇が新天皇を指名し、皇位を譲る。
- ▶ 象徴天皇の代替わりは、日本国憲法及び皇室典範特例法の定めるところによる。  
「譲る」という天皇の意志の入った行為ではない。
- ▶ 公式用語は「退位」だが、「譲位」使用にこだわるメディアも。

### ②剣璽等承継の儀 Kenji-to-Shokei-no-gi

新天皇が天皇位の象徴である剣璽を継承する

- ▶ 「剣璽を譲る」というイメージが生まれることを排する  
剣璽は天皇の意志によって譲られるのではなく、日本国憲法及び皇室典範特例法の定めるところに従って移動する。

### ③即位後朝見の儀 Sokui-go-Choken-no-gi

新天皇が即位を表明（お言葉） 剣璽を傍らに置く

## @新天皇の儀式

### ④即位礼正殿の儀 sokuirei-Seiden-no-gi

即位を国内外に宣言：天皇のおことば・首相の祝辞・万歳三唱

### ⑤祝賀御列の儀 Shukuga-Onrethu-no-gi

パレード：広く国民に即位を披露

### ⑥饗宴の儀 Kyoen-no-gi

- ⑤⑥は戦後、国民の理解を得る・外交的な効果を見込む等の目的で整備された。

### ⑦大嘗祭 Daijosai

新天皇による収穫儀礼 新穀を神に供え、神とともに食べ、豊饒と国家安寧を祈る

- 宗教的な性格を持つ儀式のため、国事行為ではなく、公的行為として実施する。
- 平成時には、政教分離原則の観点からの反対意見・過激派等によるテロが警戒された
  - ⇒大嘗宮建設中は東御苑休園・防護テントで覆う。
- 今回は建設の様子を見学可能・説明パネルも設置。
- 多額の公費支出に国民の理解を求める。
  - 本来は自然の素材をそのまま用いる簡素な儀式だが、これを現代に再現しようとする、多額の経費が必要。
- 平和的・祝賀的な雰囲気の中での代替わり



大嘗宮の建設現場

### 3、皇位継承儀式の歴史的変遷

- ▶ 7～8世紀：代替わり儀式が確定せず  
天皇と貴族層との競合のなかで、天皇の地位が未確立。  
政治的に不安定な時期には、天皇位が空白、または中継ぎの女性天皇。
- ▶ 9世紀～（平安時代 京都を都とする）  
踐祚（senso）と即位が分かれ、儀式として整備される。  
踐祚：②・③に相当 皇位を受け継ぐ…戦前は踐祚後朝見の儀  
即位：④ しかるべき準備を整えた後に、即位を天下に示す  
「**皇位は一日も曠しくすべからず**」…空位期間があってはならない  
天皇の地位・天皇と貴族層との関係が安定する。
- ▶ 11世紀～（中世）  
院政（Insei 譲位した天皇による政治）の開始  
譲位による代替わりが一般的となる：①にあたる譲位儀礼を設定  
⇒計画的な皇位継承・柔軟な政治運営が可能となる

- ▶ 12世紀～（武家（Buke）政権—幕府 bakufu—と公家政権との並立）  
公家（Kuge）政権・朝廷（Chotei）：天皇を戴く政権  
天皇権威の下落／財政の逼迫／武家からの支援を受ける  
⇒儀礼の規模の縮小・簡素化・原則の読み替え
- ▶ 15世紀～（戦国時代 全国的な戦乱の時代）  
経費が調達できず、譲位・即位儀礼が困難となる  
大嘗祭は中絶
- ▶ 16世紀～（戦乱から統一へ～江戸時代）  
徳川幕府（Tokugawa-bakufu）による天皇の保護、即位儀礼支援  
大嘗祭は200年以上中絶⇒1687年に復活  
国学（Kokugaku 日本独自の思想・文化等を研究する学問）の興隆により、  
日本古来の儀礼に対する興味が高まる。
- ▶ 民衆との関係：儀式の場に、非公式の見物人が参入。  
江戸時代には入場券が販売されたとの説も。

▶ 天皇の地位の変化により、皇位継承儀礼も縮小・中絶・復興等

## 4、即位儀礼の変化

霊元天皇即位（1663）の図（霊元天皇即位・後西天皇譲位図屏風）



- ▶ 9世紀以後整備された即位式は、唐風（中国風）を基本とする。
- ▶ 当時の先進国であった唐に倣い、日本も一流の文明国であることを示す。
- ▶ 天皇の装束は袞冕十二章（Konben-Junisho）  
冕冠と日・月・竜など王権をあらわす12の文様をつけた袞衣
- ▶ 平常の儀礼・装束が日本風に統一される中で、即位式にのみ唐風が残る。



孝明天皇（1846年即位）の冕冠と袞衣



高御座に進む天皇（模型）

- ▶ 明治天皇（1868年即位式）以後は天皇は日本風の装束を着す。  
黄櫨染御袍（Korozen-no-goho）
- ▶ 会場の設営も唐風を排し、日本風に。
- ▶ 1909 登極令（Tokyokurei）の制定  
代替わり儀式について定めた皇室令
- ▶ 大正天皇即位（1915）の際に、御帳台（Michodai）を  
設置...ただし皇后は懐妊中で欠席
- ▶ 昭和天皇即位（1928）の際はラジオによる報道。  
行列や儀式を直接報道することは許されず。
- ▶ 平成の即位（1990）：はじめての象徴天皇の即位  
日本国憲法その他の現行法に抵触しないよう調整  
実施場所を京都から東京に変更  
天皇儀礼についての議論が可能となり、情報も発信される。  
即位礼反対派によるテロの可能性や、政教分離原則との葛藤  
国民・国際社会との関係を意識して、パレード・饗宴を整備



平成の即位の礼の際の天皇

## 5、天皇制と伝統

- ▶ 126代にわたる天皇制の継続...政治的な浮沈が多い。
- ▶ 12世紀以降は、武家政権との並立・近代政治制度との並立など、天皇が単独で政治を動かしておらず、天皇制が安泰でなかった期間のほうが長い。
- ▶ 9世紀以来、天皇をめぐる儀礼の整備
  - ⇒現実の条件に応じて原則を柔軟に読み替えつつ継承
  - 儀礼に関わる知識・技術・事例を蓄積して、確実に後世に伝える。
- ▶ 平成→令和の代替わりにおいても、何百年もさかのぼって、譲位等の事例を参照して検討。
  - ⇒天皇儀礼の世界は時空を超越する。
  - 昨日の例も、300年前の例も、700年前の知識も、全く等価であり、縦横に組み換えが可能。
- ▶ 天皇家の継承・天皇制の存続こそが伝統の本質であり、それを守るためには変更できない要素はない。